





貸騰貴。シテ其影響ヲ諸色ニ及ホシ民生ノ困難
 將ニ救フ可カラサルニ至ラントス蓋シ此ノ如
 キ財政ノ困難ヲ未スハ何等ノ原由ニ依ルト云
 フニ是レ全ク外國貿易輸出入ノ不推衡ヨリ我
 國有ノ實貨海外ニ耗出シ既ニ其餘ス所少ナキ
 ヲ以テ今日實貨ノ騰貴ヲ促シタルモノト云フ
 へシ抑モ此實貨耗出ノ源ニ溯リ考視スル片ハ
 輸出入ノ不推衡ハ專ララ地租改正金納ノ変革
 ニ原田スルモノニシテ地租改正金納ノ変革ハ
 今ヲ以テ之ヲ見レハ明治政府カ財政上ノ大失

大正十一年四月
 隈侯爵邸寄贈

錯ト言ハサルヲ得ス何トナレハ改正金納ノ交
ニ付テ獨リ農民ノニ非常ノ幸福ヲ得實ニ驚ク
可キヲ富ヲ進メタリ今實況ヲ調査スルニ各地
大同小異アリト云モ目今ノ米價ニ抑テ起算ス
レハ農民ハ僅ニ旧稅額ノ九十ノ一ヲ納ムル
モノニシテ其餘裕ハ全ク望外ノ所得トナリ農
民ノ富ヲ爲スヲ益ス著明ナルヘシ是ニ於テ農
民ハ此幸福ヲ得ルヤ自ラ衣食ノ奢侈ヲ生シ
餘裕ノ財貨ハ概シテ輸入品ノ競買ニ散スルモ
ノ甚タシ故ニ近年ノ輸入品ハ悉ク下等社會即
チ農民ノ需用ニ供スルモノ多キヲ以テ之ヲ証
スルニ足ル而シテ此影響ハ忽チ輸出入ノ不權

及ニ輸出入ノ不權衡ハ實貨ノ耗出ヲ促シ實
貨ノ耗出ハ則チ實貨ヲ騰貴セシム是レ目今ノ
實況ナリ
論者或ハ此實況ヲ察セスレテ獨リ不交換紙幣
ノ増額ヲ鳴ラシ紙幣下落セリト喋々スルハ恐
ラクハ是其一ヲ論シテホタ其ニヲ論セサルカ
如シ論者又歐米各國ノ例ヲ引用シテ不交換ノ
紙幣ヲ罪スルノ論アリ是レ固ヨリ其理ナキニ
アラスト虽モ我國ノ紙幣ニ於テ其流通ノ實況
及人民之ヲ信用スルノ厚キ歐米各國ニ比例ナ
キモノ、如シ故ニ妄ニ之ヲ引例スルハ其實際
ニ支離スルノ大ナルモノナリ何トナレハ改米

各國ノ紙幣ヲ流通スルヤ貨物ノ賣買ヲ為スニ
當リ實貨ト紙幣ト交互流通シテ區分スルナ
ク賣買スル所ノ貨物ハ悉ク實貨ニ就テ之カ價
ヲ定ムルモノナリ即チ米國ニ於テ紙幣流通ノ
為メニ福ヲ被リシ時スラ貨物ノ賣買ヲ定ムル
ハ皆實貨ノ價ニシテ譬へハ其實貨ハ本位貨幣
ナリ紙幣ハ則チ助金ニシテ實貨流通ノ不足ヲ
補助セシモノナリ然ルニ今我國ニ於テハ之
反シ實貨ハ一種ノ貨物ニ屬シ紙幣ハ其本位
貨幣ト命スヘキモノニシテ他ニ之カ流通ヲ補
助スルモノナク内國一般貨物ノ賣買ヨリ貸借
ニ至ル迄一切ノ流通ハ紙幣ノニ止マリ全國

人民ハ甘シテ之カ流通ヲ信シ百貨ノ賣買都テ
何田何十錢ト唱フルカ如キハ言ハストモ紙幣
ノ相場ニシテ内國ノ需用ハ實貨ナキモ決シテ
欠クル所ナク内國人民ニ於テハ實貨ハ全ク一
種ノ貨物ト為スモ只其實貨ノ必要ナルハ柄リ
開港地ニ於テ外國品ヲ買得スルニ止マルノミ
是ヲ以テ之ヲ觀レハ改米各國ノ慣例ヲ揭ケ我
國ノ實際ニ對照スルハ是レ恐ラクハ過例トス
ルニ足ラス今我國ノ如キ貨幣流通ノ實況ヲ有
スルハ我輩未タ嘗テ海外ニ此例アルヲ測カス
蓋シ開港地ニ於テ輸入品ヲ買得セントスルモ
從來輸入ノ平均ヲ得サルヨリ必要ナル實貨

ハ我人民ノ手ニ止メ得ス其止メ得サル実貨ヲ
功ニ買收シ輸入品ヲ償フカ故ニ実貨自ラ高貴
ヲ致シ紙幣ヲ下落セシムル所以ナリ然ルニ從
前ハ其功望スル実貨不足スルモ之ニ代用スル
古金銀ノ容易ニ收得スルヲ得ルハ尤マテ実貨
ノ價ヲ騰貴スルヲナカリシモ連年出入權衡ヲ
得サルノ久シキヲ積ミ其代用スヘキ固有ノ古
金銀及ヒ実貨ハ既ニ已ニ内國ニ竭尽セラ再ヒ
帰納スルノ道ナク之ヲ概言スレハ古金銀及ヒ
實貨ハ地ヲ拂フテ海外ニ耗出セリト云フモ敢
テ過言ニアラサルヘシ夫レ貿易上ノ損失歟ノ
始クニシテ止マヤサレハ我國ノ實貨ハ益々海外

ニ耗出シ遂ニ内國人民ハ紙幣ノミヲ有スルニ
至ラント垂上ノ人心憂虞想像スル所アルヲ以
テ各自実貨ヲ秘藏スルノ念ヲ生シ終ニ今日ノ
如キ紙幣下落ノ勢ヲ長セシナリ故ニ我財政上
ノ変動ハ不交換ナル紙幣ノ増額ニ依テ之カ信
用ヲ失ヒ今日ノ下落ヲ生セシモノニアラスモ
テ全ク輸出入ノ不權衡ヨリ固有ノ實貨海外ニ
耗出シ内國ニ實貨ノ竭尽セシヨリ今日ノ困難
ヲ醸成セシモノト信スルナリ
斯クハ如ク論出スル所ハ反對論者ハ尚紙幣不
交換ニ罪シテ種々ノ道理ヲ敷衍シ及覆駁論ス
ルモ知ルヘカラス故ニ今我輩ハ一例ヲ掲ケテ

之ヲ証セン論者カ云フ如ク全ク不交換紙幣、
為ニ我財政ハ今日、困難ヲ醸成セシモノトセ
ハ此ニ実質六七千万円ヲ準備シテ紙幣ノ交換
ヲ始ムヘシ然ラハ紙幣ノ相場ハ忽々実質ト平
準シテ一時財政、困難ヲ免カル、モノ、如シ
ト虽氏到底輸出入ノ權衡ヲ失シ輸出ノ輸入
及ハサルモノ年々六百万円ト見ル所ハ十ヶ年
ニシテ右ノ実質ハ悉ク海外ニ耗出シテ再々紙
幣ノ價格ハ地ニ落テ又如何トモスル能ハサル
ニ至ラン論者或ハ紙幣ノ額多キニ過クルヨリ
今日ノ困難ヲ醸成セシモノトナシ之ヲ救治セ
ハニハ紙幣ヲ削減スルニ在リト云フモ輸出入

・權衡ヲ得サル以上ハ是亦勞シテ功ナキモノ
、如シ況ヤ我國ノ実況ニ就テ考フルニ三千三
百万ノ人口ニ對シテハ今流通スル所ノ貨幣猶ホ
其不足ナルヲ覺ユ古ハ我農民カ酷稅ヲ負ヒシ
時ハ素ヨリ通貨ヲ所有スル程ノ餘裕ナカリ
モ今日ノ農民ハ地租改正以來非常ノ富ヲ得テ
各自通貨ヲ所有スルノ額將來愈多キニ進ム
ヘシ然ラハ從來工商ノ所有ニ在テ大資本タル
ノ用ヲ為セシ金額ハ日ニ月ニ散乱シテ一円乃至
二三円ノ碎塊トナリ工商ノ流通ニ供スル能ハ
ス既ニ今日工商ノ資本壅塞シテ利子ノ高貴ナ
ルヲ見ルハ蓋シ其原由一ナラスト雖トモ之ヲ

要スルニ集合シタル資本散乱セシニ原因スル
モノ、如シ猶將來ノ影響如何ヲ想像スルニ農
ハ獨リ富ヲ進メ高工ハ衰頹ヲ招ク今農ノ富ヲ
進ムル此ノ如キヲ以テ見レハ其富ノ進ムニ隨
ヒ輸入品ヲ競買スルノ勢ハ日ニ盛ニシテ月ニ
長シ年々輸入ノ増加ヲ見ルハ疑ヒテ容レス
ニ及シテ高工ハ愈々衰頹ヲ招キ其衰頹ヲ招キ
ニ隨ヒ輸出品ノ減縮スルハ又論ヲ待タス是ハ
勢ノ然ラシムル處ニシテ此相反對スルノ影響
ハ即チ我財政上ニ於チ免ル可カラサルノ困難
ナリ

故ニ目今我財政上ノ困難ハ獨リ不交換紙幣ノ

致ス所ニアラス細ニ之ヲ分析スルハ明治政
府ノ農民ニ意外ノ富ヲ興ヘ為メニ輸入ノ額ヲ
増進セシメ其輸入ノ増額ハ即チ紙幣ノ下落ヲ
促スモノト我輩茲ニ断言スル所ナリ又不交換
ノ紙幣アルモ地租改正金納ノ変革ヲ為サス後
前ノ如ク政府ハ米納ヲ維持スルコトアラハ仮令
紙幣ノ交換ハ為ササルモ其眞價アル米穀ヲ賣
庫ニ所有スルヲ以テ之ヲ賣却スルハ陰ニ紙
幣ノ交換ヲ為スノ形容ヲ有シ其如キ物價ノ
騰貴ヲ爲スコトナク又今日ノ如キ輸入ノ増額ヲ
醸成シテ実價ノ欠乏ヲ見ルハ萬々ナキモノナ
リ

蓋シ地租改正ノ如キハ今日其形跡ヲ見ラ之カ
利害ヲ容易ニ論スルモ其改正ノ時ニ當テハ我
輩モ共ニ明治政府ノ美譽ナリトセリ然ルニ其
影響ヲ財政上ニ波及シ困難ヲ極ムルノ今日ニ
至テ始メテ地租改正ノ拙策ナルヲ驗知スルモ
亦如何トモスルヲ能ハス時運茲ニ迫リ財政ノ
困難救フヘカラサルニ當テ機変ニ應シ又之ヲ
挽回スルハ方途ヲ思考セサルヘカラス聞ク所
ニ拠レハ當時國ヲ愛スルノ志アルモノハ今日
ノ財政ヲ患ヘ公債ヲ起シ紙幣ヲ減シ或ハ用度
節減ノ法ヲ立テ、紙幣ヲ截断シ或ハ外國債ヲ
起シテ紙幣ノ交換ヲ為サレト云フカ如キハ必

ク其理ノ係ル所アルハ論ヲ待タスト虽氏恐ラ
クハ是レ一時ノ姑息法ニシテ日本帝國ノ財政
上不朽ノ理財法ト云ヒ難シ到底姑息ヲ顧ミス
断然タル國是ヲ以テ此目的ヲ決定セサルヘカ
ラサルノ時ナリ
抑モ日本帝國ノ理財法ニ於テ断然タル國是ヲ
決定セント欲セハ必ス財政ノ理源ニ就テ考按
ラ下サ、ルヘカラス今我國ノ財政ニ於テ此ノ
如キ困難ヲ來スハ前陳ノ如ク輸出入ノ不權衡
ヨリ全國ノ禍害ヲ釀成セシモノニシテ今此輸
出入ノ不權衡ヲ制セントスルニハ工商ヲ盛ン
ニシ輸出品ノ増額ヲ促スハ固ヨリ其所ナリト

虽氏要スルニ之レ机上ノ論タルニ止マリ之ヲ
実施スルニ於テハ今日ノ如キ危急ノ時洵ニ投ス
ル能ハサルモノナリ何トナレハ目今ノ実況ヲ
視察スルニ仮令商工ヲ盛ニセントスルモ其
実効ヲ奏スルニ至ルノ時日ハ甚ク遅シ之ニ反
シテ輸入増進ノ勢ハ農民ノ富ニ進ムノ勢
ト共ニ迅速ナルハ其実効ノ遅キ輸出品ノ増額
ニ依頼シ輸入増額ノ迅速ナルヲ制セントス
ハ譬ハハ鐵道ニ乘テ脱レントスル賊ヲ馬車ニ
乘テ追フカ如シト云ハサルヘカラス鐵道ニ乘
テ脱レントスル賊アラハ必ス電信ヲ以テ名報
シ之ヲ捕縛スルニ如カス今我國財政上ノ急テ

ル豈ニ馬車ヲ飛ハシテ賊ヲ追フノ時ナラシヤ
然ラハ則チ之ヲ如何セハ可ナラシヨク急ニ保
護稅ヲ賦課シテ輸入ヲ制スルノ道アルニ
此際ニ當テ保護稅ヲ課シ輸入ヲ制セントセハ
先ツ締盟各國ニ對スル我國權ノ如何ヲ回顧ス
サルヘカラス我目今ノ國權ハ果シテ如キ
英斷ヲ交際上ニ向テ決行スルヲ得ヘキカ之ヲ
成否ヲトスルニ至ラハ嗚呼奈何ニヤ筆ヲ投
スルノ外ナカルヘシ然ラハ則チ國家財政ノ道
ニ於テハ既ニ之ヲ挽回スルノ法ナク政府人民
共ニ束手シテ財政ノ困難其極ニ至ルヲ見ル歎
要スルニ歎ノ如キ財政ノ危急困難ヲ坐視スル

ヨリ寧口政府人民共ニ其嶮ヲ衝キ堅ヲ碎クニ
若カス其堅キヲ碎キ嶮ヲ衝クノ施設ヲ陳スル
前ニ於テ先ツ明治政府力是迄内国人民ニ向テ
如何ノ福福ヲ與ヘ如何ノ愛憎ヲ施シタルヤヲ
判定セサルヘカラス

明治政府ハ何等ノ理由アツテ偏ヘニ農民ヲ愛
シテ酷ニ士高工ヲ憎ミタルカ我輩カ農民ヲ偏
愛セシト論スル所以ノモノハ即チ地租改正録
内ノ^レ変革是レナリ蓋シ地租改正ハ明治政府ノ
仁術ニ出テ從來ノ苛税ヲ廢シテ適宜ノ税法ニ
改メタルハ固ヨリ其所ナリ然リト虽氏今日ニ
シテ之ヲ見レハ前陳ノ如ク從來ノ税額中僅ニ

十分ノ一ヲ納ムルヲ以テ我輩カ政府カ偏ヘニ
農民ヲ愛スルニ過ルモノト論述スル所ナリ之
ニ及シテ士族ニハ家禄奉還ノ法ヲ設ケ金録公
債ヲ以テ強テ家禄ヲ引上タルハ何ソヤ又高工
ノ富メルモノハ大概田藩々ニ貸金アリシト新
田ノ公債ヲ以テ強ヒテ之ヲ決算シタルハ何ソ
ヤ抑モ米納ヲ廢シ金納トナシ地租ノ改正ニ休
テ農家富ヲ進メタルヨリ高民ハ米穀賣買ノ權
ヲ農民ニ制セラレ漸次米價ノ騰貴ヲ見ルハ士
高工ノ最モ困難スル所ニシテ就中士族ノ如キ
ハ公債ノ金利ヲ以テ生計ヲ為ス能ハサレハ或
ハ公債ヲ賣リ或ハ所有ノ器具家産等ヲ賣却シ

レテ食糧ノ不足ヲ償フモノ比々皆是ナリ目今
ノ如キ米價高貴ナル片ハ今ヨリ三ケ年間ノ賣
食ヒテ為シ得ルモノモ一ケ年半以上ヲ保ツ能
ハス猶相当ノ公債ヲ所有スル士族モ米價至当
ノ點ニアル片ハ公債器具ヲ賣却スル程ニマラ
サリシモ今日ニ至テハ止ラ得ス賣食ヒテ為ル
ノ勢ヒニ迫レリ夫レ我國ノ施政ハ士族ノ方向
如何ニ依テ其難易ヲ曲顧セサルヲ得ス今士族
ヲ度外ニ置クモ其究迫スルニ至テハ政府モ之
ヲ度外視スル能ハス然ニ其士族ニシテ目今ノ
如ク日ニ財産ヲ失スルハ必竟明治政府カ独リ
農民ヲ偏愛シテ士高工ヲ酷憎セシニ出テタリ

ト云ハサル可ラヌ又一般高工ニ於テハ一家ノ
命脈ト依頼スル資本ハ公債ト變シ高工ノ資カ
ハ無數ノ零碎ニ分割散乱シテ悉ク政府カ偏愛
スル所ノ農民ノ懐ニ入り為メニ高工ノ資本ハ
漸次ニ減耗シ金融壅塞シテ利子ノ高貴ヲ俟
高工ノ利益ヲ減縮セシムルニ至レリ又農民ハ
望外ノ幸福ヲ得タルモ及テ政府ノ好意ニ背
其初メヤ竹槍ヲ弄シテ之ニ抗シ今日ハ奢貨ニ
流レテ輸入品ヲ競賣シ終ニ実貨ノ欠乏ヲ促カ
シ全国理財ヲシテ困難ニ陥ラシムルモ亦之レ
明治政府カ独リ農民ヲ偏愛セシニ原因スルト
云ハサルヲ得ス

明治政府カ人民ヲ遇スルニ求メテ其愛憎ヲ為
セシニアラス地租改正ノ始キハ真ニ公平ノ精
神ニ出ヅルモノト虽也今日ニ至テ過去ノ利害
ヲ追懐セハ或ハ前陳ノ如ク論セラル、モ亦免
レサル所アリ若シ政府過去ノ施政ニ誤リアル
ヲ知覺スル片ハ翻然其過ヲ修正セサルハ自
ス其之ヲ脩正スル能ハサレハ目下我財政上ノ
困難ヲ挽回スルノ道アルナレ何トナレハ尚
政府カ地租改正金納ノ变革ヲ施コセシハ全国
人民ニ對シ愛憎偏重ノ施政ニシテ且ツ其影響
スル所輸出入ノ不權衡ニ及ホレ目下財政ノ困
難ヲ釀成セシミハト驗知スル以上ハ宜シク過

去ノ失錯ヲ改メ全國財政ノ困難ヲ速ニ挽回ス
ルノ方法ヲ設ケサルヘカラス今試ニ之ヲ述ヘ
シ
一ニ曰ク輸出入ノ不權衡ヲ制セシカ為ノ保護
税ヲ賦課セントスルニ我國權ノ如何ヲ回顧ス
ルカ後令其財政ヲ挽回スルノ実効アルモ決シ
テ之ヲ実施スルノ目的ヲ遂ケ能ハス
二ニ曰ク保護税ヲ賦課スルノ実施ヲ強テ遂ケ
ニテヲ要セハ更ニ海陸ノ兵制ヲ調ハ殊ニ我
ノ如キ海國ニ於テハ甲鉄艦ノ三十艘ヲ纏カサ
レハ我固有ノ國權ヲ掌握スルノ實効ヲ得ル能
ハス是亦目今ノ景勢ニテハ果シテ能ク成ス所

アルヲ知ラス
三ニ曰ク保護税ハ賦課スルヲ得サレハ全国ノ
鑛業ヲ盛ニシ其發掘スル所ノ金銀塊ヲ以テ紙
幣ノ交換ヲ促キ假令輸出入ノ不權衡ヨリ其實
貨ノ耗出スルモ年々容易ニ之ヲ償フテ得セ
シムルカ之レ又期望スヘキノ道アルモ果シテ
之ヲ得ルノ鑛山アルヲ知ラス
四ニ曰ク輸入ヲ制スルノ論ヲ止メ專ラ輸出ヲ
増進センテ之ヲ要シテ全国ノ工商業ヲ盛ニセ
ント政府人民共ニ力ヲ尽ス所アルモ輸出ノ増
進ハ前陳ノ如ク輸入ノ増加ニ及ハサル遠シ且
ツ今日ノ輸入品ハ未タ下等社會ノ需用ノミ多

ト虽氏年ヲ進テ農家ノ富猶一步ヲ進メハ從
來黒砂糖ヲ需ヒテ足レリトスルモ白砂糖ニア
ラサレハ需用セサルカ如ク日ニ奢侈ニ進ニ愈々
輸入ヲ増進セシムルヤ明ラカナリ故ニ今増進
ノ遲緩ナル輸出品ニ依頼シテ増額ノ迅速ナル
輸入ヲ制セントスルハ恐ラクハ其目的ヲ得ル
能ハス
以上四項ハ目下ノ財政ヲ挽回スルノ適論ナリ
ト自ラ信スル所アリト虽氏僅ニ之カ一項ヲ遂
ケントスルモ頗ル至難ト云フヘレ果シテ之カ
目的ヲ遂ゲ能ハサルモノトセハ全國人民ノ安
寧ハ其レ歸着セル所ナカラン然リト虽氏今政

府カ過去ノ施政ニ於テ全国人民ニ對シ独リ農
民ヲ偏愛シタル弊害ヲ今日ニ反省スルヲ得ハ
茲ニ果斷ノ發令ニ由テ施スヘキ一法アリ即チ
地租改正金納ノ變革ニ溯リ更ニ令レテ地租五
分ノ一ハ現米ヲ以テ徵收スルノ法是ナリ是法タ
ルヤ政府ハ一タヒ金納トセシ今日ニ至リ再ト
此令ヲ發スルハ實ニ忍ヒサル所アルハ論ヲ俟
タス或ハ農民竹槍ニ訴フルノ變アルモ知ト可
カラスト雖氏今日ノ財政ヲ挽回シ國家ノ富強
ヲ圖リ人民ノ安寧ヲ保護セシト欲セハ竹槍ノ
變ヲ恐ルルノ時ニ了ラス或ハ之ヲ容易ニ行ヒ
難トトスルモ目今ノ財政ハ困難ニ極ニ陥リ容

易ニ之ヲ挽回シ能ハサルモナリ此容易ニ挽
回シ能ハサルノ困難ヲ挽回セント欲スルハ固
ヨリ容易ノ施設ヲ以テ之カ挽回ヲ見ル能ハス
故ニ政府ハ果斷ノ一令ヲ決行シテ目今ノ財政
ヲ濟ヒ將來ノ基礎ヲ固クセサル可ラス若シ尚
此果斷ヲ決行スルニ思ヒサル所アラハ前陳ノ
四項ニ就テ之ヲ實施スルヲ得ルノ目的アル者
蓋シ其レ期シテ成ス所ナカルヘシ果シテ其期
スル所ナキニ於テハ止ラ得ス斷然此果斷ヲ決
行スルノ外ナシ況ヤ明治十年十一月第十八号
ノ布告アルニ於テオヤ該布告ヲ以テ代米納ラ
差許サレタルハ當時米價下廉ニ過キ農民カ苦

ニ陥ラントスルヲ憐シテ之ヲ救フカ爲メノ爲
令ナリシニ今之ニ反シテ米價騰貴甚シキナリ
全国人民中其多キニ居ル士商工一般ハ困難ヲ
来スノ際ニ方ツテ其利害ノ係ル処ヲ識別シ之
カ救助ノ方法ヲ設ケンカ爲メニ米納ヲ命スル
モ其少キニ居ル所ノ農民ニ於テ苦情ヲ唱フルト
理ナキヤ明カナリ若シ之ヲ決行スル能ハサレ
ハ財政ノ急ヲ救ヒ以テ国家ノ安寧ヲ維持スル
ノ道アルナシ又前陳ノ四項ト此果断トニ於テ
孰レカ其施行ノ容易ナルト點視スル時ハ必ス
此果断ヲ以テ容易ナリトスヘシ何トテハ此
果断ヲ行フハ内国ノミニ止リ仮令竹槍ニ訴ル

ノ変アルモ亦前ノ四項ニ較スレハ其施ス所容
易ニシテ実効亦速ナリト信スルナリ
政府止ムヲ得キルノ果断ニ出テ現米ヲ以テ
地租ノ五分ハ一ヲ徴收スルモノトセハ全国ノ
財政ニ於テ如何ノ影響ヲ及ボスカ今試ニ之ヲ
述ヘン抑モ目下財政ノ困難ヲ来ス所以ノモノ
ハ必ス地租改正全納ノ改革ニ依テ農民望外ノ
幸福ヲ得非常ニ富ヲ進メ其餘裕ヲ抛ツテ輸入
品ヲ競買シ遂ニ輸出入ノ不権衡ヲ醸成スルノ
實際ハ前陳ノ如シ故ニ今現米ヲ以テ納ムヘキ
地租ヲ仮ニ五百万石トシ此五分ノ一ハ即チ百
万石ナリ政府此百万石ノ所有ニテ取地出米穀

地ノ多キ 販賣地東京大ニ之ヲ配置シ米價ノ高貴ナ
ルヲ見ハ則チ之ヲ鬻賣シテ其價ヲ至当ニ制
シ若シ廉價ニ過クレハ之カ鬻賣ヲ止メ全国ノ
米價ヲシテ常ニ適宜ノ定價ヲ維持セシムル片
ハ米價ハ相場ヲ有スルト係ラサルトノ點ニ於テ
又農民ノ不幸ヲ蒙ルモ目今ノ實況ニ就テ考フ
決シテ廉價ヲ患フルノ時 仮令實貨少シク高貴
ナルモ米價至当ノ價ヲ有スルカ故ニ諸色ト騰
貴セシムルニ至ラサルヘシ又仮令實貨騰貴ノ
為メニ諸色ノ高直ヲ見ルコトアルモ米穀サヘ下
直ニアル片ハ細民ノ苦情決シテアルコトナシ
此ノ如ク米穀ヲ政府ニ貯蓄シ之ヲ販賣シテ米

價ノ平均ヲ與フル片ハ全国三千有三百萬人
民如何ノ影響ヲ蒙ルカ今之ヲ推測スルニ士商
工ハ全国人口ノ六分ニ居リ農民ハ其四分ニ居
ル故ニ米穀至当ノ價ヲ有スル片ハ全国人民ノ
六分ハ幸ヲ得四分ハ多少ノ不幸ヲ蒙ルノ姿ナリ
然リト虽尺畑ニ之ヲ分拆シテ其利害ヲ判別ス
ル片ハ農民中ニアリテモ米價高貴ノ為メニ真
ニ僥倖ヲ得ルモノハ四分中ノ半数ニ過キ不其
餘ハ所謂小作人ナリ小作人カ收穫シタル米穀
ノ過半ハ地主ノ收得スル所トナリ餘ニ餘裕ア
ルモ米價高直ニ依リテ諸色ノ高直ヲ致シ其諸
色ノ高直ナルカ為テ僅々餘裕ノ作徳米ヲ以テ

諸色ノ高直ヲ支ルヲ難シ故ニ農民ト虽米價騰貴ノ為メニ幸ヲ得ルモノハ其半数ニ過サルナリ又全国人民ノ上ニ於テ之ヲ大別スルハ米價騰貴ノ為メニ僥倖ヲ得ルモノハ大凡全国人民ノ二公通りニ如カス
前陳ノ如ク米價高貴ヲ制シ得ル中ハ貿易上ト向テ如何ノ影響ヲ及ホスモノカトスルニ輸入貿易ハ農民ノ富ヲ制セラルト共ニ減縮大ヘシ何トナレハ例ヘハ一ノ農民アリテ従来貢米五石ヲ納ルモノ之ヲ一石十円ニ賣ルモノトスレハ五十円ノ金額ヲ收得セシモ今五分ノ一ノ現米ヲ貢税スルニ於テハ五石ノ内一石ハ則チ

貢税ト為シ残り四石ヲ賣出サントスルニ際シ米穀ハ至当ノ價ニ制セラレ、以テ一石ノ價ヲ仮ニ七円ニイルト見ル然ラハ四石ノ價金廿八円ヲ収得シ前年ニ比スレハ二十二円ノ収得ヲ減スル也廿二円ハ大概輸入物ヲ競買スルモノトセハ則チ輸入貿易ノ額ヲ減縮スレシ是ヲ以テ之ヲ觀レハ農家ノ富ヲ適宜ニ制スルハ輸入貿易ハ自ラ制セラレ、所アルヤ必セリ輸入貿易ノ制セラレ、所以ノモノハ前陳ノ如クナシ比今猶其輸入ヲ減スルノ割合ヲ臆案スルニ全国産出ノ米穀ハ三千万石トシ此内農民ノ自耕自食スルモノ五百万石トスレハ残餘二

千五百万石ハ必ス賣買ニ係ルモノトス然ルヲ
今政府五分ノ一ヲ現米ヲ以テ租税ニ取り此現
米ヲ以テ全国ノ米價ヲ制スルニ其三分ヲ下
ニ得ルモノトセハ乃チ二千五百万石ノ賣買ニ
對シ七千五百万田ノ金類ハ直ニ農民ノ收得ヲ
減スルモノナリ此七千五百万田ノ類ハ概テ農
民ノ餘裕奢侈ニ散スル処ノモノニシテ所謂輸
入品ヲ競買スル等ノ餘財ト云サルヲ得ス然ラ
ハ輸入品ノ減縮スルヤ疑ヲ容レサルナリ
此ノ如ク輸出入ノ權衡殆ント平均ヲ得シトス
ルニ至テハ閑澆地ニ於テ要スル所ノ實價其不
足ナキヲ得ヘシ其不足ナキヲ得ルハ隨テ實

質ノ相場自ラ低落シ紙幣ノ價格ヲ復スルヲ疑
ヒテ答レサル所ナリ若シ輸入貿易ニ於テ前陳
ノ如キ突効ヲ現ハホ、ルモ既ニ米價ヲ制スル
ノ權ヲ政府ニ掌握スル上ハ今日ノ如キ財政ノ
困難ヲ醸成スルニ至ラサルヘシ抑モ我國ノ實
況ハ金銀實價ノ高貴ナルカ爲メニ物價ニ影響
ヲ及ホスト米價ノ高貴ニ依テ物價ノ高貴ヲ保
スト其緩急遲速ノ別アルハ固ヨリ同日ノ論ニ
アラス突効ノ高貴モ物價ニ影響ヲ及ホサハル
ニアラスト虽モ米價ノ高直ニ依テ其影響ヲ及
ホスノ速カナルニ比スレハ三ト七トノ如シ何
トナレハ突効ハ必スシモ今日賣買ノ流通ニ用

ヒス内国ニ在テハ一ノ貨物ニ類シ摺リ開港地
ノ貿易上ニ用アルヲミテ穀ハ然ラス全國人民
日々其便ヲ求メテ生計ヲ為スモノナレハ米價
ヲ標準トシ百匁ノ物價ヲ昇降セシムルハ目今
ノ実況ナリ故ニ仮令實價高貴ナルモ米價ガハ
廉ナル所ハ内國ノ百匁非常ノ高貴ニ進ハリ
ク又細民ニ至テモ苦情ヲ唱フルヲ決シテアル
トナシ若シ之ニ及ンテ實價廉ナルモ米價高貴
ナル所ハ忽ケ百匁ノ高直ヲ見ルハ論ヲ持タス
此ノ如キ理由明ラカナルカ故ニ目今ノ財政ヲ
挽回スルニ於テ前頭四項ノ目的ヲ遂ケ能ハサ
ルモノトセハ我輩ハ断然地租五分ノ一ヲ現米

ニテ收得スルヲ外此困難ヲ救済スルノ方法決
シテアルトナシト明治^言スル所ナリ反對論者ノ
言ノカ如ク米交換紙幣増額ノ為メニ信用ヲ失
シ漸次下落セシモノトスルモ之ヲ救フノ道ニ
於テ考按ヲ下セハ亦地租五分ノ一ヲ現米ニテ
收得スルノ外他ニ実効ヲ見ル能ハサルモノト
確信セリ政府ハ地租改正金納ノ變革ヲ為シ再
ヒ五分ノ一ヲ現米ニテ收得スルハ實ニ忍ビサ
ルニ似タリト雖モ其忍ビサルヲ忍ビサルトシ
テ之カ実施ヲ遲延スル所ハ忽ケ全國ノ財政其
當ヲ失シ人民塗炭ノ苦ニニ陥ラントス依令全
國人民ヲシテ塗炭ノ苦ニテ受ケニメサルモ其

人、民、中、ノ、多、キ、ニ、居、ル、士、商、工、ノ、苦、患、ヲ、顧、シ、ス、シ
テ、其、少、ナ、キ、ニ、居、ル、農、民、ヲ、特、別、ニ、偏、愛、ス、ル、ハ、政
府、人、民、ヲ、遇、ス、ル、ノ、道、ニ、マ、ラ、ス、况、ン、ヤ、此、偏、重、ヨ
リ、シ、テ、全、国、ノ、財、政、ヲ、壞、フ、リ、今、日、ノ、危、急、ニ、迫、ル
ノ、際、ニ、於、テ、キ、ヤ、蓋、シ、農、民、ハ、政、府、カ、米、納、ヲ、實、施
セ、ハ、各、自、ノ、富、ヲ、損、ス、ル、ノ、思、ヒ、ラ、ナ、ス、可、シ、ト、米
氏、請、フ、其、實、際、ニ、就、テ、潛、思、セ、ヨ、抑、本、年、ノ、米、價、ハ
十、四、昨、年、ノ、米、價、ハ、平、均、セ、四、十、リ、即、兩、年、間、ニ、於
テ、三、割、ノ、差、ヲ、生、シ、タル、ハ、昨、年、ノ、凶、歉、ア、リ、テ、本
年、ノ、缺、乏、ヲ、未、セ、シ、ニ、非、ス、實、ニ、農、民、カ、富、ヲ、進、メ
タル、ニ、隨、ヒ、知、ラ、ス、識、ラ、ス、奢、侈、ノ、情、ヲ、誘、起、シ、山
谷、海、濱、ノ、小、民、ニ、至、ル、迄、多、ク、米、ヲ、以、テ、常、食、ト、為

レ、遂、ニ、米、穀、ノ、不、足、ヲ、見、ル、ニ、至、リ、シ、モ、ニ、シ、テ
尚、將、来、ヲ、推、測、ス、レ、ハ、農、民、ノ、富、一、分、ヲ、進、ム、レ、ハ
米、食、モ、亦、必、ス、一、分、ヲ、進、ム、ヘ、シ、然、ラ、ハ、則、米、穀、ノ
缺、乏、ハ、漸、次、其、甚、シ、キ、ヲ、告、ケ、其、價、ヲ、低、下、ス、ル、ノ
時、ナ、キ、ノ、ミ、ナ、ラ、ス、今、ヨ、リ、後、モ、高、貴、ヲ、加、ヘ、其、高
貴、ス、ル、ニ、隨、ヒ、農、民、ハ、弥、其、富、ヲ、進、メ、奢、侈、ヲ、長、シ、
輸、入、品、ヲ、競、買、シ、輸、出、入、ノ、權、衡、益、偏、重、シ、テ、制、ス、
可、ラ、サ、ル、ノ、勢、カ、ヲ、兆、ス、可、シ、故、ニ、論、者、カ、或、ヒ、ハ、我
輩、ノ、旨、趣、ハ、獨、リ、農、民、ヲ、慮、シ、テ、以、テ、全、国、ノ、財、政
ヲ、挽、回、セ、ン、ト、ス、ル、ニ、出、ル、モ、ノ、ト、難、ス、ル、アル、ハ、
シ、ト、虽、氏、我、輩、ノ、主、意、ハ、目、今、ノ、形、勢、ニ、就、テ、人、民
ヲ、遇、ス、ル、○、公、平、ノ、措、置、ヲ、陳、テ、以、テ、究、困、ノ、財、政

ヲ救済セントスルノ精神ニ出ルモノニシテ決
シテ農民ヲ苦シマシムルモノニ非ス我輩深ク
農民ノ實際ニ就ヒテ之ヲ考フルニ地租改正金
納ノ変革前ニ較スレハ今日政府力五公一ノ現
米ヲ徴收スルモ米價騰貴ノ為メニ望外ノ幸福
ヲ得タル農民ニ於テハ之ヲ納ルモ容易ナル時
ト言フヘシ又前陳ノ如ク本年ノ米價十円ニ昇
ルトイヘトモ昨年ノ米價七円ヲ回顧シテ至當
ノ利ト見做ストキハ強クニ苦情ヲ唱フルノ理
由ナキモノトス加フルニ米價下落スルハ諸
色随ツテ下落スルモノナレハ農民ノ懐莫ニ於
テ別ニ損失ナキヤ明ナリ又反覆之ヲ論スルニ

今農民カ僥倖ニシテ得ル所ノ財ハ之ヲ農業ノ
基資ト為スニ非ス其俄カニ富ヲ得タルカ為メ
ニ覺ヘス偷安ノ情ヲ起シ昔年寒ニ暑ニ耐忍勉
勵セシ処コノカハ変シテ怠慢遊惰ノ弊ニ流レ
其得タル所ノ餘裕ハ酒食遊樂ノ為ニ散シ筋力
自ラ衰へ農事漸ク怠ラントスル兆ヲ呈ハセリ
凡ソ農民タル者ハ開化未開化ノ各國ヲ論セス
必ラス皆農民タルノ職業即チ艱苦ヲ忍ビ勞力
ニ耐ユルノ本分ヲ尽シテ以テ其生計ヲ為シ所
謂ル一粒ノ米ハ一滴ノ汗ヨリ得タルモノナル
リ故ニ其力ハ毎ニ勞スルモ其心ハ安ク其得ハ
少キモ其基ハ固キモノナルハ宇内ノ通慣ニシ

ヲ若シ之ニ反シテ苟モ僥倖ヲ希望シ勞苦ヲ避
ケントスルノ情ヲ誘起スル所ハ利害忽テ轉シ
テ其^農民ハ鞏固ノ基礎ヲ失シ全国ノ財政ハ之カ
爲ニ壞ルニ至ルハ疑ヲ容レサル所ナリ豈嘆
スヘキノ甚シキニ非スマ是ヲ以テ之ヲ觀レハ
我輩ノ主意ハ獨リ農民ヲ苛虐シテ全国ノ財政
ヲ挽回セントスルニ出ルニ非ス時勢ノ止ムヲ
得サル所ト利害ノ當ニ然ルヘキ所トニ付テ
眼ヲ此一點ニ注ク処ナリタトヒ識者ノ卓見他
ニ出ルアルモ其理ヲ推究スルノ極点ニ至リテハ
必ス此租稅五分一ノ現來ヲ徵收スルニ皈セサ
ル可ラス若シ今日此法ノ行レサルモ到底目今

ノ財政ヲ挽回セント欲ロハ他日必ス行ハル
ノ時アルヲ信スルナリ故ニ我輩ハ茲ニ明言シ
テ識者ノ参考ニ供スルト云爾
附言或ル論者カ不交換ノ紙幣此ノ如ク増額
シテ紙幣ノ信用ヲ失ヒ漸次下落スルニ隨テ
諸色高貴ヲ致シ其弊制スヘカラサルヲ論シ
政府人民非常ノ節儉ヲ用ヒ其餘ス所ハ斬截
シテ紙幣ヲ減サセント云フカ如キハ所謂経
済家ノ通論ニシテ其理ノアルト口固ヨリ
ナリト虽氏目今我財政ノ實際ヲ考視スルニ
或ル論者カ其表面ノ一ヲ掲ケテ普通ノ理論
ヲ述ルハ譬ヘハ吸收限リナキ穴路ヲ塞カス

シテ、往ニ水ヲ遣ルカ如シ、豈ニ夫レ洋溢セシ
ムルヲ得ンヤ、何トナレハ我財政ノ弊ノ如キ
困難ヲ来ス所以ノモノハ、本文既ニ論スルカ
如ク、其源地祖改正金納ノ変革ニ出テ、之ヲ
輸出入ノ不權衡ニ及シ、輸出入ノ不權衡ハ固
有、實貨ヲ海外ニ耗出セシメ、其存有スル所
ノ實貨日ニ欠乏ヲ告クルニ際シ、反テ輸入品ヲ
買得スルノ勢愈盛ニシテ、其輸入品ヲ買收ス
ルカ爲メニ必要ナル實貨ハ、如何ヲ顧
ニス之ヲ買得スルヨリ、自ラ實貨ノ高貴ヲ促
シ、遂ニ此紙幣ノ下落ヲ醸成シタルモノナリ
又全國ノ民情ニ於テハ、不交換ナル紙幣増額

ノ如何ヲ知得スルモノサナク、人民ノ感觸ハ
日ニ月ニ実貨及古金銀ノ缺乏スルニ及ニ
テ始メテ、其源ハ輸出入ノ不權衡ヨリ、我國ノ
金銀實貨ハ年々歳々海外ニ耗出シ、遂ニ内國
ノ實貨ハ外國貿易ノ爲メニ、尽ク没收セラレ
全國人民ハ紙幣ノミヲ有テ、如何トモスル
能ハサルニ至ラントスルノ想像ヨリ、紙幣ノ
信用ヲ缺クモノニシテ、決シテ紙幣増額ノ爲
メニ生スル所ノ感觸ニアラサルナリ、故ニ今
或ル論者ノ言フク、如ク只其表面ノ一方ヲ指
ケテ之ヲ論シ、其一方ニ就テ紙幣ヲ断截スル
モ到底其病根ヲ治セサルハ、患者ノ全快ヲ期

スル、下能ハス、又論者ノ言フカ如ク紙幣増額
ノミヲ罪シ今之ヲ新截スルモ輸出入ノ不權
衡ヲ制シ突貸ノ耗出ヲ止メテ内地ニ突貸ヲ
貯蓄スルノ方法ナキハ仮令紙幣ヲ新截ス
ルモ古金銀突貸ノ地ヲ掘テ海外ニ耗出セ
シ、後ハ全國人民カ所有スル紙幣上ニ於テ只
其多寡ノ別アルノミ、残ル所ハモノハ同シク
之レ一片ノ紙タレニ過キス、又論者ハ突貸ノ
騰貴ヲ患ヒテ紙幣ヲ新截スルノ精神ナリト
見ルトキハ恐ラクハ其望ム所ノ目的ヲ得サル
ヘシ何トナレハ輸出入ノ權衡ヲ制セサレハ
往來耗出セシ突貸ヲ止ムル能ハス之ヲ止ル

下能ハサレハ仮令紙幣ヲ新截スルモ突貸ノ
價格ハ愈々騰貴シテ止マズ紙幣ノ信用ヲ失
フハ又喋々ヲ待タサルナリ
又論者ノ云フカ如ク紙幣ヲ新截スルニ於テ
ハ内地人民ハ如何ノ影響ヲ蒙ルヤ又我國體
及ビ施政上ニ於テ如何ノ盛衰ヲ生スルヤ細
ニ之ヲ推測スルキハ恐ラクハ言フニ忍ビサ
ルノ慘状ヲ現スルニ至ラレ、實ニ財政上ノ變
化ハ意想ノ外ニ出ルヲ多ク即チ地租改正
ノ大變革ヲ見ヨ當時ニ在テハ地租改正ハ為サ
ルヲ得サルノ專論ニ歸シタルヲ以テ未曾有
ノ大變革ヲ為シタルニアラスヤ然ルヲ若シ

當時ニ在テ地租改正ノ結果ハ目今ノ如キ變動ヲ未スモノト推知スルヲ得ハ決シテ之カ改正ヲ為サル可シ是ヲ以テ之ヲ見レハ財政上ノ變化ハ常ニ意想ノ外ニ出ルト云フ也敢テ我輩ノ過言ニアラサルナリ故ニ独リ紙幣ヲ断裁スルノ一方ノニテハ全国ノ財政ヲ挽回スルノ功ト全經濟ノ通路ヲ閉塞スルノ害ト孰レカ大孰レカ小ナルヤ今預シメ判決スルヲ得サルヲ以テ見レハ蓋シ之ヲ功害相半スルモノト云ハサルヘカラス何トナレハ今預シメ理財上ノ變化ヲ明知スル能ハス又輸出入ノ不權衡ヲ制スル能ハサレハナリ

今論者カ不交換紙幣ノ増額ヲ患ヒテ之ヲ裁断セント云フカ如キハ我輩ニ於テモ最モ冀望スル所ニシテ固ヨリ賛成セサルヲ得スト虽氏前陳ノ如ク避ク可カラサルノ理由アルヲ以テ見レハ今日ニ當リ不交換紙幣ヲ裁断スルモ全国ノ財政ヲ挽回スル能ハサルヲ患ル所ナリ然レナカラ紙幣裁断ノ論ハ方今ノ輿論ニ近ク若シ之ヲ断裁ヤント欲セハ迄ヲ裁断シテ其効ヲ實際ニ得ルノ方法ニ由ラズルヘカラス今試ニ其方法ヲ陳シニ即チ保護税法是ナリ蓋シ保護税ハ本文第一項ニ於テ其成否如何ヲ論スルニ至テ既ニ筆ヲ投シテ

止ム然ラハ則チ保護税ヲ賦課スルノ道ナキ
カ如シト虽氏或ハ他ニ名義ヲ立テ方法ヲ設
ケテ之ヲ実施スルヲ得ヘキナリ幸ニ我開港
地ニハ五厘金ノ税則了リ此五厘金ハ元ト是
レ貿易商ノ共同ヨリ成立シモノニシテ締盟
各国仮令之ヲ拒絶セントスルモ人民ノ共同
ニ拠ラ貯積スルモノナレハ敢テ之ヲ故障ス
ル能ハサルハ論ヲ待タス而シテ此五厘金ハ
人民共同ノ決議ニ依テハ之ヲ五厘金ニスル
モ五厘金ニスルモ人民ノ随意ニ為シ得ル所ノ
モノナリ又輸入品價格ニ應シ各開港地ニ於
テ同一ノ歩合金ヲ積立ルモノトスルトキハ

輸入品ノ元價ハ固ヨリ各港共ニ差異ヲ生ス
ルヲナシ是レ今日焦眉ノ急ヲ故ノ保護税ニ
代ルノ一策ニシテ此五厘税ノ額ヲ漸次ニ増
加シ以テ輸入ヲ制スルノ一助ト為シ而シテ
其紙幣ヲ断裁シ一ハ紙幣ノ額ヲ減シ一ハ我
國ノ物産ヲ保護セルトス其五厘金積立ノ方
法ノ如キハ更ニ別冊ニ詳述スル所アルヘシ

